

第7回日本老年学会総会・第13回日本老年 医学会総会・第13回日本老年社会科学学会総会

標記の3学会総会が昭和46年11月1日(月)～3日(水)の3日間にわたり、東京都千代田区平河町の日本都市センターにおいて開催され、本研究所から、上田正夫(人口政策部長)、山口喜一(主任研究官)の両技官が出席した。

日本老年学会としては、総会会長(慶応大学・立川共済病院 相沢豊三)を始め、老年医学会・老年社会科学学会総会の会長(東京大学 吉川政己および慶応大学 寺尾琢磨)演説が行なわれ、特別講演として「核家族の老人」(東洋大学 小山 隆)、「老年者の脂質代謝」(慶応大学 五島雄一郎)の2題と、シンポジウムとして「老年者の健康と就労」(司会:吉川政己・寺尾琢磨)があり、5報告をめぐって討論が行なわれた。

日本老年医学会総会においては、特別講演「老化と癌化」(東京大学 太田邦夫)と、二つのシンポジウム「高令者手術の適応と限界」(司会:東京大学 石川浩一)、「老年期における疾患の成立」(司会:日本大学 大島研三)があった。一般演題は240題を数えた。

日本老年社会科学学会総会においては、特別講演「人口老年化の動向」(人口問題研究所 上田正夫)を始め、シンポジウム「老年福祉の重点的検討」(司会:寿命学研究会 渡辺 定)についての報告と討論があり、一般演題として23題の報告があった。(山口喜一記)

日本栄養改善学会第18回総会

第18回日本栄養改善学会は、昭和46年11月3・4・5日にわたって熊本市において開催された。一般研究報告は、4分科会に分かれ、計303題の報告が行なわれた。また、シンポジウムとしては、「食品公害について」の報告があり、討論が行なわれた。

本研究所からの参加者内野澄子(人口移動部主任研究官)は「食行動の格差構造一昭和45年度広島県調査から一」と題して報告を行なった。(内野澄子記)

第25回日本人類学会日本民族学会連合大会

標記大会は、昭和46年11月6・7の両日、東京慈恵医科大学講堂において開催され、特別講演2、一般講演90が述べられたが、本研究所からは、人口資質部長篠崎信男技官が座長として、人口資質部能力科長青木尚雄技官が一般講演発表者として出席した。青木の講演題名は「日本人の致命率について」である。

(青木尚雄記)

国際家族計画指導者セミナー

家族計画指導者セミナー(Seminar for Family Planning Leaders, 1971)は、10月18日から26日までの9日間、日本政府(海外技術協力事業団)主催、財団法人家族計画国際協力財団委託のもとに、外務省会議室その他の会場で開催された。

このセミナーは、本誌第120号に紹介された家族計画広報活動セミナーに引続いて行なわれた国際家族計